

イオンモールで働く方々を対象に

「すぐに役立つ！手話講座」を開講しました

OHK岡山放送は去る9月2日(月)、イオンモール岡山(岡山市北区)内の会議室にて、岡山県聴覚障害者福祉協会から庄田正子さん、手話通訳者の林恭子さんを講師に招き、このテナント店舗で働く従業員を対象に「すぐに役立つ！手話講座」を開催しました。今年2月に続き、今回で6回目の開講となります。



今回は初めての試みとして、庄田さんから手渡された「耳栓」を装着して、「聴こえないとはどういう状態なのか」を体感することから始めました。突然の停電発生を想定して会場の照明を消すと、完全に真っ暗な環境下に置かれた受講者の中には「何も聴こえなくて怖かった」「何が起きたのかわからなかった」

という感想の声がありました。このように聴覚障害者の立場を理解したうえで、基本的な接客用語、駐車券の有無や支払いに使う電子マネーの種類の尋ね方の他、身ぶりや表情を加えながら手話を使って伝える方法などを、実践形式で学んで頂きました。



受講者の皆様からは「手話はとても難しいと感じていたが、身振り・表情などを一緒に取り入れることでコミュニケーションがしっかり取れることを学んだ」「先生が楽しい方で、楽しく学べた」「初心者であることを考慮され、ゆっくり丁寧に教えて頂いた」との感想が寄せられ、ご好評を頂きました。

OHKでは今後も健常者・障がい者のコミュニケーションの幅を広げるお手伝いをさせていただくことを通じて、地域に貢献していきたいと考えています。